

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：厚木ASD支援センター	種別：生活介護・就労継続支援B型	
代表者氏名：原崎 知之	定員（利用人数）：生活介護20名（15名）、就労継続支援B型10名（6名）	
所在地：〒243-0032 神奈川県厚木市恩名2-1-27		
TEL：046-204-8165	ホームページ： http://www.tomoni.or.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2020年10月1日（就労継続支援B型：2021年4月1日）		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 県央福祉会		
職員数	常勤職員： 3名 非常勤職員 18名	
専門職員	社会福祉士:3名（常勤1、非常勤2）	介護福祉士:4名（常勤2、非常勤2）
	看護師:2名（非常勤）	保育士:1名（非常勤）
施設・設備の概要	作業室3、相談室1	食堂1、トイレ男女各1
	更衣室1、事務室1	バリアフリートイレ1

③理念・基本方針

<法人理念>

- 1 ソーシャルインクルージョンを目指します。
- 2 先駆的で開拓的な事業を展開します。

<法人基本方針>

- 1 人権の尊重とサービスの向上を図ります。
- 2 インフォームドコンセント及びエンパワーメントを大切にした利用者さん主体の支援を推進します。
- 3 地域との共生を目指します。
- 4 ニーズの多様化と複雑化に対応します。
- 5 社会のルール（コンプライアンス）を徹底します。
- 6 説明責任（アカウンタビリティ）を徹底します。
- 7 人材の確保・育成の為に研修体制を徹底します。
- 8 柔軟で行動力のある組織統治（ガバナンス）を徹底します。
- 9 財務基盤の安定化に努めます。
- 10 国際化への対応に取り組みます。
- 11 社会貢献活動に積極的に取り組みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

事業所では、利用者の対象をASD（自閉症スペクトラム障害）に限定し、ASDの支援に特化した形で生活介護・就労継続支援B型の2形態で展開している。

具体的には、評価キットを使用して各利用者の障害特性・学習スタイル、興味・関心や得意・不得意等を把握した後に、活動の予定や活動・作業の流れ等を視覚的に確認出来る工夫や視覚刺激の考慮（パーテーションの設置）、新しい活動の機会の提供が行える安心した環境設定に配慮している。

主な活動としては、就労継続支援B型は提携している久遠チョコレートの製作として、チョコ・ドリンク等の製品作り、製品のラベル貼り、製品のパッキング等を行っている。生活介護は、CD解体・ボールペン組立が受注作業としてご提供しており、B型と生活介護共に工賃を支払っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月16日（契約日）～ 令和4年11月1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

◇特長や今後期待される点

1) 利用者の特性を考慮した個別支援となっています

利用者を自閉症スペクトラム障害に特化して受け入れています。加えて重度の知的障害がある利用者の特性を考慮し、日中活動の場の環境設定や作業提供の仕方、コミュニケーションの工夫など、個別に標準化した支援を展開しています。支援は評価キットを活用し、利用者の興味関心や能力の内容・レベルを把握した上でメニューを作成していますが、あくまで利用者の安心や安定を基本として、その日の利用者の状況に合わせて柔軟に変更しながら提供しています。

2) 職員の質の向上を目指して取り組んでいます

事業所においては、利用者に対する十分な理解と適切な個別支援が特に不可欠であることを認識し、職員の自閉症スペクトラム障害に関する専門性や支援技術の向上を図っています。法人内外の自閉症に関する研修に積極的に参加し、日々の支援に関する課題は職員間で協議しながら解決を図っています。解決が困難な事案については、スーパーバイザーに助言を求めながら解決しています。日常的には所長など常勤職員が支援現場で直接支援にあたりながらOJTを行うことで資質の向上に繋がっています。また、自閉症に関する外部機関の研修に職員を講師として派遣することでも、職員のスキルアップに努めています。

3) 中・長期計画の文書化と職員への周知が期待されます

開所後2年未満の事業所で、職員の資質向上や財政的な安定を図る必要があるため、所長は中期的ビジョンを持っていますが、文書で明らかにしていません。所長を中心にビジョンに基づく支援を実践しており、改めて全職員に対して中期的ビジョンを文書化し周知を図ることが期待されます。併せて法人の理念や基本方針、事業所の事業計画書等についても、非常勤職員も含め、明文化されたものを確認することが望まれます。

4) 地域との連携・協力が期待されます

法人の基本方針には、地域との共生が謳われ、事業所でも運営規程で地域と家庭との結び付きを重視した運営を行うとしています。利用者の生活基盤である地域の社会資源を知り活用すること、また、事業所が地域における貴重な社会資源であり続けるために、広く地域の関係機関や諸団体との交流、連携・協力について事業所運営の安定化と共に取組む工夫が期待されます。

5) 企業と連携した就労支援を行っています

〓就労継続支援B型の施設として利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出す取組や工夫を行い、チョコレートの製造・販売事業を行っています。利用者の意向や障害の状況に合わせた作業工程表にもとづき、作業の担当を決め、OJT研修を通じて必要な知識・技術の習得を支援しています。現在では利用者が新たな作業の希望を申し出るなど、働く意欲の向上が見られてきました。企業と連携し就労の機会を作ることで、利用者は働くためのマナー、知識・技術の習得が進み、能力の向上が図られています。職場開拓の課題もありますが、工賃も全国平均を大きく上回っています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

事業者名：厚木ASD支援センター

“ 開所当初より力を入れてきました、自閉症スペクトラム障害の特性に合わせ個別に支援を行うことや、職員の障がい特性への理解を深めるといったことに、一定の評価を頂けたことはとてもありがたく思います。これを励みに、引き続き個々に合わせた丁寧な支援から利用者さんの安定と安心につなげていきたいとします。

その他、中長期的な計画についての文章化と職員への周知、地域との連携や協力、就労支援などにつきましてご指摘をいただきました。開所してこれまでの2年間では、通所される利用者さんへの取組に重きを置いてきましたので、今後はその他の部分（地域や関係機関との連携、文書化などの整理）にも注力し改善に努めていきたいとします。

全体を通しては、気づきが多くよい振り返りの機会となりました。今後の施設運営に活かしていきたいです。”

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり